

2007年5月11日

駐日米国大使	J・トーマス・シーファー	} 様
在日米軍司令官	ブルース・A・ライト中将	
在日米海軍司令官	ジェームズ・D・ケリー少将	
厚木航空施設司令官	ジャスティン・D・クーパー大佐	
外務大臣	麻生 太郎	
防衛大臣	久間 章生	
防衛施設庁長官	北原 巖男	

町田市長 石阪 丈一

厚木基地における夜間連続離着陸訓練の中止について（要請）

5月10日、防衛施設庁から、厚木基地において3日間にわたりFA18ホーネット等による夜間連続離着陸訓練（NLP）が実施されるとの連絡があり、すでに昨夜から開始されました。

硫黄島の天候不良等のためとはいえ、地元自治体からの要請にもかかわらず厚木基地で訓練を実施することはたいへん遺憾であり、日ごろから騒音被害に苦しめられている多くの住民にさらに苦痛を与えるもので、絶対に容認することはできません。

4月26日の要請以来、地元住民から激しい抗議の声が数多く寄せられております。貴職におかれましては、硫黄島での訓練期間の延長などの措置により、5月14日及び15日の訓練を厚木基地で実施することのないよう（早急に米軍に申し入れ、日米双方で再度調整されることを）強く求めます。

※（ ）は日本側の要請に挿入